

無線通信研究委員会

SG6 (ジュネーブ)

報告書 (案)

平成 25 年 4 月 26 日

目次

| | |
|----------------------------------|----|
| 1. まえがき | 2 |
| 2. 議事概要 | 2 |
| 3. SG6 会合報告 | 4 |
| 3.1 開会あいさつ | 4 |
| 3.2 議事次第の承認 | 5 |
| 3.3 議事録作成のラポータ指名 | 5 |
| 3.5 前回会合議事録の承認 | 5 |
| 3.6 KRIVOCHEEV SG6 名誉議長の挨拶 | 5 |
| 3.7 各 WP の会合報告、出力文書審議 | 6 |
| 3.7.1 WP 6A 報告概要 | 6 |
| 3.7.2 WP 6B 報告概要 | 8 |
| 3.7.3 WP 6C 報告概要 | 11 |
| 3.8 その他の文書 | 15 |
| 3.9 ラポータグループについて | 16 |
| 3.10 CCV 関連事項 | 17 |
| 3.11 緊急放送 | 17 |
| 3.12 SG6 ステアリング会合の結果 | 18 |
| 3.13 他の研究委員会、国際機関とのリエゾン文書 | 18 |
| 3.14 テキストの現状 | 20 |
| 3.15 次回会合予定、その他 | 20 |
| 4. あとがき | 20 |
| 表 1 日本代表団 SG6 会合参加者 | 21 |
| 表 2 次回会合予定(6/ADM 10)..... | 21 |
| 表 3 入力文書一覧(53 件)..... | 22 |

1. まえがき

国際電気通信連合無線通信部門(ITU-R)の第6研究委員会(SG 6:放送業務)は、以下のとおり開催された。(本報告書では、すべて敬称は省略する。)

開催日 : 2013年4月26日(金)(1日間)
開催場所 : ITU本部(スイス・ジュネーブ)
議長 : Christoph DOSCH(独)
副議長 : 西田幸博(日)、Roger BUNCH(オーストラリア)、Paolo ZACCARIAN(イタリア)、Cecily HOLIDAY(アメリカ)、Amir Hassan NAFEZ(イラン)、Mohamad AYOUB(レバノン)、Abayomi Olaiya BOLARINWA(ナイジェリア)、Angaman KESSE(コートジボワール)、Qingjun ZENG(中国)
(3名は欠席 : Kyung-Mee. KIM(韓国)、Oleg GOFAÏZEN(ウクライナ)、Mohamed SAAD ALMARZOUQI(UAE)、

参加者 : 会合には、33ヶ国、14の認められた企業や地域機関、ITU事務局等から合わせて117名(最終参加者リスト)が参加。
主要国及び機関からの参加者数は、中国16名、ロシア連邦7名、イタリア9名、ドイツ5名、アメリカ合衆国4名、ブラジル3名、オーストラリア2名、フランス1名、イギリス3名、イラン2名、パチカン1名、EBU6名、ITU BR3名である。
日本からは表1に示す6名が参加した。

2. 議事概要

今回は、今研究会期の第3回会合で、3つのWP会合に続いて開催された。新勧告案4件の仮採択(すべてPSAAを適用¹)、エディトリアル勧告改訂案1件、新レポート案3件、レポート改訂案5件の承認²、研究課題改訂案1件の採択²および、2件の勧告廃止と3件の意見廃止が合意された。

以下に、今会合で承認手続きに入ることが合意された新勧告案、承認された新レポート案及びレポート改訂案ならびに研究課題改訂案、勧告廃止提案、オピニオン廃止提案を列挙する。

[1] 仮採択された新勧告案及び勧告改訂案

● 新勧告案 ITU-R BT.[DTV-RX]「地上デジタルテレビジョンシステムの周波数プランニングに向けた標準受信システムの特性」

Doc. 6/131 Draft New Recommendation ITU-R BT.[DTVRX] - Characteristics of a reference receiving system for frequency planning of digital terrestrial television systems

● 新勧告案 ITU-R BT. [IBB-GENERAL]「放送指向型ハイブリッド放送(放送・広帯域通信統合システム)とその想定される利用法に対する一般要求条件」

Doc. 6/ 132 (WP 6B) Draft new Recommendation ITU-R BT.[IBB-GENERAL] - General requirements for broadcast-oriented integrated broadcast-broadband (IBB) systems and their envisaged utilization

¹ 会合後に、新勧告案または勧告改訂案に対してSGでの採択と構成国による承認を同時に実施する手続きをPSAA、別々に実施する手続きをNormalと呼んでいる。詳細は決議ITU-R 1-6の§10.2~10.4を参照。RA-12において、今後の承認手続きは原則としてPSAAによることが決定された。

² 新研究課題案または研究課題改訂案はSG会合で採択され、会合後に承認手続きを行う。勧告のエディトリアル改訂、レポートとハンドブックはSG会合で承認される。

- 新勧告案 ITU-R BT. [3D-BRR]「放送における国際番組交換のための HDTV 3DTV 番組伝送方式」

Doc. 6/139 (WP 6B) Draft new Recommendation ITU-R BT.[3D-BRR] - Transport of HDTV 3DTV programmes for international programme exchange in broadcasting

- 新勧告案 ITU-R BT.[REF-VIEW]「HDTV 番組素材や完成番組の評価のための基準観視環境」

Doc.6/121 (WP 6C) Draft new Recommendation ITU-R BT.[REF-VIEW] - A reference viewing environment for evaluation of HDTV program material or completed programmes

[2] 承認されたエディトリアル勧告改訂案

- 勧告 ITU-R BT.1729 のエディトリアル修正案「アスペクト比 16:9 または 4:3 に共通のデジタルテレビジョン標準テストパターン」

Doc.6/120 (WP 6C) Editorial revision of Recommendation ITU-R BT.1729 - Common 16:9 or 4:3 aspect ratio digital television reference test pattern

[3] 承認された新レポート案、レポート改訂案

- レポート ITU-R BT.2209 の改訂案 「ISDB-T システムにおける標準受信機特性」

Doc. 6/128 (WP 6A) Draft revision of Report ITU-R BT.2209 - Calculation model for SFN reception and reference receiver characteristics of ISDB-T system

- レポート ITU-R BS.2213 の改訂案 「VHF の地上 FM 音声放送における信号処理と圧縮技術の影響」

Doc. 6/130 (WP 6A) Draft revision of Report ITU-R BS.2213 - Impact of audio signal processing and compression techniques on terrestrial FM sound broadcasting emissions at VHF

- レポート ITU-R BT.2247-1 の改訂案 「地上デジタル放送と IMT の両立性検討における野外測定と分析」

Doc. 6/135 (WP 6A) Draft revision of Report ITU-R BT.2247-1 - Field measurement and analysis of compatibility between DTTB and IMT

- レポート ITU-R BT.2140-5 の改訂案 「地上デジタル放送のアナログからデジタルへの移行」

Doc. 6/136 (WP 6A) Draft revision to Report ITU-R BT.2140-5 - Transition from analog to digital terrestrial broadcasting

- レポート ITU-R BT.2249-2 の改訂案 「デジタル放送とマルチメディア映像情報システム (VIS) 」

Doc. 6/134 (WP 6B) Draft revision of Report ITU-R BT.2249-2 - Digital broadcasting and multimedia video information systems

- 新レポート案 ITU-R BT.[SDI-IP] 「SDI(シリアルデジタルインターフェース)設備と IP(インターネットプロトコル)設備の統合」

6/140 (WP 6B) Draft new Report ITU-R BT.[SDI-IP] - Integration of an SDI infrastructure with an IP-based infrastructure

- 新レポート案 ITU-R BS.[FABS] 「将来のオーディオ放送システムの枠組み」

Doc.6/125 (WP 6C) Draft new Report ITU-R BS.[FABS] - Framework of future audio broadcasting systems

- 新レポート案 ITU-R BT.[IBB-REPORT] 「ハイブリッド放送(放送・広帯域通信統合システム)」

Doc. 6/133 (WP 6B) Draft new Report ITU-R BT.[IBB-REPORT] - Integrated Broadcast-Broadband (IBB) systems

[4] 採択された研究課題改訂案

- 研究課題 ITU-R 136-1/6 の改訂案「全世界的な放送ローミング」

Doc. 6/129 (WP 6A) Draft revision of Question ITU-R 136-1/6 - Worldwide broadcasting roaming

[5] 合意された勧告、オピニオンの廃止案

- 勧告 ITU-R BR.1385「記録可能なコンパクトディスク(CD-R)での音声番組交換」と BR.1694「劇場環境での提示を想定した LSDI 国際番組交換用ビデオカセット録画フォーマット」の廃止提案

Doc. 6/123 (WP 6C) Suppression of Recommendations ITU-R BR.1385 and ITU-R BR.1694

- オピニオン 15-3, 16-3 の廃止提案

Doc. 6/137 (WP 6A) Suppression of Opinion under the responsibility of Study Group 6

- オピニオン 90 の廃止提案

Doc. 6/141 (WP 6B) Suppression of Opinion under the responsibility of Study Group 6

- オピニオン 40 の廃止提案

Doc. 6/122 (WP 6C) Suppression of Opinion under the responsibility of Study Group 6

3. SG6 会合報告

3.1 開会あいさつ

DOSCH SG6 議長より以下の挨拶があった。

3 人の訃報に接した。うち、2 人は直前までアクティブに活動していた。WP6C 活動していて、映像品質評価法の専門家だったポーランドの Alina Karwowska-LAMPARSKA が 3 月に亡くなった。カナダの Francois CONWAY は NABA として前回会合にも出席していた。53 歳で訃報は、我々にとっても大きな衝撃だった。もう一人は既に一線を退いている BARADA。多くの記憶がある。

(黙祷)

世界では地震が多数起きている、またビルの崩壊でたくさんの死者も出ている、さらにテロによる攻撃もある。インフラが破壊された場合でも、放送はいつも大きな援助となってきた。今会合でのトピックの 1 つに災害時の放送(Emergency Broadcasting)がある。

議長に続いて、Kavouss ARASTEH(イラン)から BARADA についての紹介があった。WP6A、4C では既にこの話をしていることをご了承いただきたい。彼は 1932 年モロッコ生まれ。若くしてモロッコの Telecommunication Authority の Director General に就任。パリのトップの大学を卒業し、フランス語、英語、スペイン語に精通し、アラビア語も使いこなしていた。会議では人々をサポートするのに最適な言語を用いていた。当時の通訳は今ほど完璧ではなかったし、特に衛星や宇宙技術は未熟だったこともある。1965 年の PPM で国際周波数登録委員会(IFRB)のメンバーになった。これは現在の SG を除いた BR にあたる。委員会はとても影響力があり、周波数

管理を行っていた。彼は IFRB の最も強力なメンバーだった。1968, 71, 75, 80, 84 で議長を務めた。89 年は政治的理由により推挙されなかったが、彼はその後も CPM、WRC に参加し人々を導いてくれた。95 年に彼が CPM 議長を行った時は、彼をサポートして決議を準備する機会があった。また、彼と ITU 代表として共に働く機会があった。72 年のミュンヘンでの EBU ミーティングである。全ての会議で彼はキーマンであった。79 年には 12 も会議があった。彼は Space Regulation のレビューを行った。彼はよく人々を自宅に招待し、クスクスなどの食事を囲んで多くの問題を解決してきた。そのおかげで会議では問題無く進んだ。さらに、会議での後であっても不適切な決定は発言して修正させたとても勇気がある人であった。

マラケシュで議長を行った時、私は彼に”Mr. Barada, you are son of the Arab, son of Africa”と申し上げたのを憶えている。2000 年以降、彼は ITU から離れていたが、連絡は取り続けていた。彼は 3 回の心臓の手術を行い、4 月 21 日に悲報を受けた。我々は彼から学ばなければならないし、彼は私たちの心に残り続けるだろう。

ところで、KRIVOCHEEV SG6 名誉議長が今会合も出席している。Man of Vision, knowledge and understanding. である。私は、1976 年に彼にデジタルテレビに関する議長に指名された。その時、彼は既に Full Digital Satellite Television について話していた。そして、それを実現している。彼の言葉はすべて実現している。彼の先進的なアイデアが、いつも我々を導いてくれている。

議長からは、Kavouss ARASTEH の発言に同意するという発言の後、オープニングの挨拶として全ての参加者に感謝すること、BR の Director Francois RANCY が病気で欠席していることが紹介された。

3.2 議事次第の承認

アジェンダは Doc 6/ADM/11 に、Work Plan が 6/ADM/12 にあることが紹介された。スケジュールを変更し WP6A から審議を開始することがアナウンスされ、承認された。

3.3 議事録作成のラポータ指名

議事録作成のラポータとして、Roger BUNCH(オーストラリア)が指名された。

3.4 会議進行に関する連絡

カウンセラーから INFO/3 に会合の情報がある、INFO/4 が Spectrum management program の情報があるので興味があれば直接 BDT へコンタクトをとるようにアナウンスがあった。

3.5 前回会合議事録の承認

議長からは、全ての技術進化にこの歳になっても興奮している。4K の進展、3DTV も同様。また、移動業務と放送の融合が進んでいる。楽なタスクではないことは承知しているとコメントされた。

議事録案は承認された。

3.6 KRIVOCHEEV SG6 名誉議長の挨拶

話す機会を頂き感謝する。SG6 の多くの決定と、技術革新、中でも重要なのは、デジタル放送の発展の新時代に注意するのが私の職務だと信じる。メディア、送信、受信、情報、双方向性が地上放送、衛星放送、CATV、固定回線を使った放送を大幅に拡張する。インターネット技術ではクラウド技術が最も重要であろう。双方向性を活用し、自分の好みで放送を見ることができるようになる。受信側で考えれば、勧告 BT.2020 に準拠する 4K、8K の UHDTV を(ビットレートは数 Gbps だが圧縮技術により)大画面に表示できる。結果として、多機能インタラクティブデジタルテレビ放送がもたらされた。SG6 は新しい技術のプラットフォームを推進していく。WP6A は周波数

確保、WRC-15 のタスクという非常に難しい問題を抱える一方で、worldwide broadcast roaming などを検討していく。また、WP6B は IBB、6C は UHDTV フォーマットを検討している。情報化社会の最も重要な構成要素である、多機能インタラクティブデジタルテレビ放送の新時代に関する ITU の活動を世界は理解すべきである。SG6 の役割はますます重要になっている。

この後、議長からセクターを超えたラポータグループの設置については、RAG が議論し、RA が決定を行い、これらは将来の放送業務に関連するというコメントがなされた。WOOD WP6C 議長からは、セクターを超えたラポータグループは、成功への可能性を高める。ラポータには適切な人材を選択することを希望すると発言した。これに対しイランは、ITU-T を考慮するときは、ITU-T SG9 だけではなく SG16 も忘れてはならず、また、ITU-R SG6 の重要性について主張していくべきであると発言した。全権会議で ITU の戦略的計画(Strategic Plan)を作成する必要がある。これは来年には作成されるため、確実に ITU-R SG6 の意見が反映されるべき。ITU-R はその能力と重要性を見せていく必要がある。戦略計画へ SG6 のアイデアを入力し、放送に新しいビジョンがあることを主張した上で、RA で議論することになる。我々は取り残されることのないようにすべきであると意見を述べた。

これに対し議長は、4K, 8K, 3DTV, そして LTE と放送の共用・両立性の検討などが控えている。秋にはワークショップも開催する。更に来春には、Beyond HDTV のワークショップも行われる。昨年は、デジタル TV 研究開始 40 周年のワークショップと KRIVOCHEEV SG6 名誉議長の 90 歳のお祝いを行った。この後には多くの検討課題が控えている。ICT、特に放送への障害者や高齢者へのアクセス性改善技術の導入についてもその一つである。KRIVOCHEEV SG6 名誉議長のアドバイスに感謝すると発言した。オーストラリアは、WP6A で多くの勧告、レポートを ITU-D に提供しているとし、ガイダンスとリーダーシップをロードマップで示していくことが重要とコメントした。

3.7 各 WP の会合報告、出力文書審議

3.7.1 WP6A 報告概要

- Doc. 6/143 (Chairman, WP 6A) Executive Report of the meeting of Working Party 6A (Geneva, 16-24 April 2013)

「WP6A の報告」

OLSON WP6A 議長(アメリカ)から以下の報告があった。

多くの参加者、入出力文書があった。11 件のリエゾン文書。多くは複雑で長く、特に JTG4-5-6-7 に送付するものに顕著であった。また、3 つのラポータグループが設置されることが報告された。

DOSCH 議長から、このレポートでは、WP6A の作業を完全に表せないほど、たくさんの作業を行ってきた。JTG4-5-6-7 の Concerned Group として技術的パラメータのリエゾン文書などの作成を行ったと評価した。

イランから、OLSON WP6A 議長の成果を祝福するコメントが出された。また、彼のリーダーシップで、会議中の緊迫感が和らげられたことを特筆すべきであると評価した。WRC-15 議題 1.1, 1.2 の難しいところを処理してくれたと付け加えた。

- Doc. 6/131 (WP 6A) Draft new Recommendation ITU-R BT.[DTV-RX] - Characteristics of a reference receiving system for frequency planning of digital terrestrial television systems

新勧告案 ITU-R BT.[DTV-RX] 「地上デジタルテレビジョンシステムの周波数プランニングに向けた標準受信システムの特性」

ISDB-T の標準受信システム特性を追加する提案である。日本から ISDB-T の情報を入力している。特段の議論無く仮採択された。(PSAA)

- Doc.6/137 (WP 6A) Proposal to suppress ITU-R Opinions in the purview of Study Group 6
「SG6 が所掌するオピニオンの廃止提案」

WP6A に関するオピニオンの廃止に関する提案である。26 MHz における放送と音声放送に関する規格作成を行う団体に関するもので、イタリアからの寄書に基づく。特段の議論なく合意された。

- Doc. 6/129 (WP 6A) Draft revision of Question ITU-R 136-1/6 - Worldwide broadcasting roaming

研究課題 6/129 の改訂案 「世界的な放送ローミング」

放送(受信機)の世界的なローミングの定義の明確化の提案で、脚注の修正を行っている。特段の議論なく、採択された。

- Doc. 6/128 (WP 6A) Draft revision of Report ITU-R BT.2209 - Calculation model for SFN reception and reference receiver characteristics of ISDB-T system

レポート ITU-R BT.2209 の改訂案 「ISDB-T システムにおける標準受信機特性」

日本から入力した ISDB-T の SFN 受信に関する計算モデルのレポート BT.2209 に複数 SFN 波の検討を追加する提案である。図の一部修正があることを日本から指摘を受けているのでカウンセラーがエディトリアルに対応することが説明された。特段の議論無く承認された。

- Doc. 6/130 (WP 6A) Draft revision of Report ITU-R BS.2213 - Impact of audio signal processing and compression techniques on terrestrial FM sound broadcasting emissions at VHF

レポート ITU-R BS.2213 の改訂案 「VHF の地上 FM 音声放送における信号処理と圧縮技術の影響」

フランスからの、FM 音声放送におけるコンプレッサーによって MULTIPLEX の電力制限を超えた場合の混信保護比の変化に関する実験結果である。イランから[Editorial Note]の削除の提案があり、BR がエディトリアルに削除するとし、文書は承認された。

- Doc. 6/135 (WP 6A) Draft revision of Report ITU-R BT.2247-1 - Field measurement and analysis of compatibility between DTTB and IMT

レポート ITU-R BT.2247-1 の改訂案 「地上デジタル放送と IMT の両立性検討における野外測定と分析」

日本の 700MHz 帯における放送と IMT の両立性の検討結果を、フィールドテストの結果などが記載された既存のレポートに追加する提案である。議長から、P.86 の表に()の代わりに[]が使われている点が指摘されたがカウンセラーがエディトリアルに修正するとした。また、P.2 の最終段落は、不要として削除された。削除された段落は以下の通り。

At its September 2011 meeting, Working Party 6A received further contributions (Documents 6A/607, 6A/608) which have been added to the draft new Report. Working Party 6A also received the contribution (Doc. 6A/235) providing studies on interference between digital terrestrial television broadcasting (DTTB) for ISDB-T system and IMT in the 700 MHz band. This document provides a series of reports on field measurements and analysis of compatibility between broadcast service and mobile services within a geographic area.

さらに、イギリスからはレポート ITU-R BT.2247 については、JTG4-5-6-7 に既に送っている放送保護のリストに載っており、重要である点が提起され、発行を急ぐべきと指摘された。これに対しカウンセラーは、この文書を優先して処理すると回答した。イランからは、日本の国内の受信機に対してフィルターを使用した対策手法が、JTG4-5-6-7 で一般化されることへの懸念が表明され、レポート内に、一般化されるべきではないと記載すべきと主張。オフラインでの議論の結果、以下の一文を P.2 の最終段落に追記することで合意された。放送の保護は、混信保護比などの保護基準で行われるべきであり、フィルター、高性能アンテナによる対策は国内の問題であり、混同されないようにすべきとの主張である。

This Report contains national case studies which cannot be generalized.

の一文が追加されて承認された。

- Doc. 6/136 (WP 6A) Draft revision to Report ITU-R BT.2140-5 - Transition from analog to digital terrestrial broadcasting

レポート ITU-R BT.2140-5 の改訂案「地上デジタル放送のアナログからデジタルへの移行」毎会合で更新が行われているアナログ TV 放送からデジタルへの移行に関する各国からのレポートにオーストラリアとルワンダの情報を更新する提案である。特段の議論なく承認された。

- Doc. 6/138 (WP 6A) Proposal to add a number of broadcasting terms, definitions and/or acronyms to the ITU terminology database

「ITU の用語データベースへの放送関連の用語、略語の追加提案」

用語に関するラポータからの提案である。2 つの定義(シリコンチューナー、カンチューナー)を追加提案したもので、特段の議論なく承認された。

最後に BDT から SG6 のアナログからデジタル放送への移行に関する情報提供に対しての協力を謝意が述べられた。

3.7.2 WP 6B 報告概要

- Doc.6/144 (Chairman, WP 6B) Executive Report of the meeting of Working Party 6B (Geneva, 22-25 April 2013)

「WP6B の報告」

西田 WP6B 議長(日本)から以下の報告があった。

SG6 での仮採択、採択、承認、合意を伴う 7 件の文書のほかに、WP6B での審議結果の重要項目として、CCV ラポータから提案された用語と定義に関する同意、セクター間ラポータグループへの暫定的位置付けでの参加への関心、UHDTV インタフェースとファイル形式の標準化の促進、勧告 BR.1352 改訂を取り止め、拡張的な音声ファイル形式の検討開始、ラウドネス準拠を識別するための方法、全言語文字に関する字幕システムの情報収集と全言語対応型システム

開発に向けた検討、これまでと異なるレベルでの IBB システムの研究、携帯端末による受信向けマルチメディア放送に関する勧告 BT.1833 の再編作業、他組織などとの協調による研究促進のためのリエゾン文書等について報告があった。

FG-AVA の副議長でもある WOOD WP6C 議長から、WP6B 議長が紹介した全言語に対応可能な字幕システムの研究は、独立した多くのシステムが使用されている現状から難しい面が多くあると思うが、放送、CATV、インターネット、パッケージメディアなどに共通に適用しうる1つのシステムにどのように移行することを考えているか、どの位の期間を想定しているかとの質問があった。

WP6B 議長は、現在、共通字幕システムへの具体的な移行方法や期間について想定しているものはない。ラテン系言語と非ラテン系言語間の問題解決が課題である。共通システムに向けて言語間の変換を行う手法として、中間言語を介して、オリジナル言語での字幕を別の言語の字幕に変換するようなアイデアがある。あくまでもアイデアレベルであり、寄書による積極的な提案をお願いしたいと回答した。

SG6 議長から、機械読み取り可能であれば自動翻訳が使用できるとしても、字幕表示に関して、水平だけでなく垂直での表示もあり、水平表示でも左から右だけでなく、その逆もある。いろいろな難しい問題があるかもしれないが、問題が存在しており、解決を望む人がいる状況で、我々は少なくともトライしてみる必要があるとの発言があった。

- Doc. 6/ 132 (WP 6B) Draft new Recommendation ITU-R BT.[IBB-GENERAL] - General requirements for broadcast-centric integrated broadcast-broadband (IBB) systems and their envisaged utilization

新勧告案 ITU-R BT. [IBB-GENERAL] 「放送指向型ハイブリッド放送(放送・広帯域通信統合システム)とその想定される利用法に対する一般要求条件」

まず、タイトル中の UIT が ITU にエディトリアルに修正された。

Kavouss ARASTEH(イラン)から、Broadcast-centric application という表現に対し、もう少し簡易な表現がないかとの発言があった。

SG6 議長は、broadcast-centric の意図するところは、放送サービスがブロードバンドサービスを利用して、トータル的に提供するサービス品質を向上させるものである。ブロードバンドシステムはインタラクティブ性のために使われ、付加的な情報、コンテンツ、アプリケーションなどが追加される。これらは、まず放送信号を受信し、放送信号の中に含まれる制御情報により、ブロードバンドシステムを介した付加サービスを得るように実行されるものである。broadcast-centric とはこのような意味合いで使用されているが、分かりにくいということであれば、単純に削除して説明テキストを追加することも考えられると発言した。その後、いくつかの変更案が出されたが、結論として、broadcast-oriented に変更することに合意され、何カ所を前後のテキストにあうように以下の変更をした。

タイトルを General requirements for broadcast-oriented ~~centric~~ centric applications of integrated broadcast-broadband (IBB) systems and their envisaged utilization と変更。

Scope の第1文を This Recommendation defines general requirements for broadcast-oriented ~~centric~~ centric integrated broadcast-broadband digital television systems. と変更。

Considering a)を、broadcast-oriented ~~centric~~ centric IBB applications とし、

Recommends 1 を、the general requirements for broadcast-oriented applications of an integrated broadcast-broadband systems stated in Annex 1 と変更した。

David WOOD(EBU)から、broadcast-centric が ITU 以外でも使用され始めていたので、新しい表現である broadcast-oriented が選択された背景・意味合いを示す説明テキストを議長レポートに記載してもらえると読者に役立つ旨の発言があり、SG6 議長は了承した。上記の修正後に仮採択された(PSAA)。

- Doc. 6/139 (WP 6B) Draft new Recommendation ITU-R BT.[3D-BRR] - Transport of HDTV 3DTV programmes for international programme exchange in broadcasting

新勧告案 ITU-R BT. [3D-BRR] 「放送における国際番組交換のための HDTV 3DTV 番組の伝送方式」

二眼 3DTV の左右の映像・音声等の情報を圧縮信号の形式で国際番組交換する際の伝送形式を規定する新勧告案である。修正無く、仮採択された(PSAA)。

- Doc. 6/141 (WP 6B) Suppression of Opinion under the responsibility of Study Group 6

「SG6 が担当するオピニオンの廃止提案」

WP6B が所掌する Opinion ITU-R 90 Equipment interconnection in professional programme production installations を廃止する提案である。意見無く、承認された。

- Doc. 6/133 (WP 6B) Draft new Report ITU-R BT.[IBB-REPORT] - Integrated Broadcast-Broadband (IBB) systems

新レポート案 ITU-R BT.[IBB-REPORT] 「ハイブリッド放送(放送・広帯域通信統合システム)」

HbbTV や Hybridcast など 3 つの実例を集めた IBB システムのレポートである。修正無く、承認された。

- Doc. 6/134 (WP 6B) Draft revision of Report ITU-R BT.2249-2 - Digital broadcasting and multimedia video information systems

レポート ITU-R BT.2249-2 の改訂案 「デジタル放送とマルチメディア映像情報システム(VIS)」

多機能デジタル TV 放送の発展を ITU-R SG6 の勧告、レポート、研究課題によって示す図を追加するのが今回の主な変更点である。SG6 議長より、今回追加される勧告・レポート・研究課題を示す図の色を薄くして、文字を読みやすくすべきとの指摘があり、発行の際に変更されることになった。修正無く、承認された。

- Doc. 6/140 (WP 6B) Draft new Report ITU-R BT.[SDI-IP] - Integration of an SDI infrastructure with an IP-based infrastructure

新レポート案 ITU-R BT.[SDI-IP] 「SDI(シリアルデジタルインタフェース)設備と IP(インターネットプロトコル)設備の統合」

前回会合に日本から入力したものである。SDI 信号を IP ベースの局内ネットワーク上を伝送するシステムの導入例を記載した新レポート案であり、SG6 議長から、SDI ベースのインフラ環境

から IP ベースに移行していく点で大変興味深い内容のレポートで、新レポートとして発行に至ったことを祝福するとの発言があった。修正無く、承認された。

- Doc. 6/142 (WP 6B) Reply from Study Group 6 to the note by the Secretary-General - ICT sectorial consultation on the role of ICTs to promote the inclusion of persons with disabilities

「障害者の ICT への関わりを促進するための ICT の役割に関する SG6 から事務局長への返答」

ITU 事務局長からの障害者の社会参加を促進するための ICT の役割についてなされた 5 つの質問に対する SG6 からの回答案であり、SG6 議長を中心に、WP6A, WP6B の関係者が作成し、両 WP の承認を受けて提出されたものである。(WP6C は既に会合終了していたため、WP6A と WP6B に送付された。)

SG6 議長より、6B/119 には、このアンケートの背景が記載されており、国連における障害者に関するハイレベル会合が 2013 年 9 月に開催される。この会合に向けて、ITU としての取り組み状況を報告する情報を収集する目的で、関係する SG やグループに対して事務局長から出されたものであることが説明された。

修正無く、承認された。

3.7.3 WP6C 報告概要

- Doc.6/127Rev.1 (Chairman, WP 6C) Executive Report of the meeting of Working Party 6C (Geneva, 15-19 April 2013)

「WP6C の報告」

WOOD WP6C 議長 (EBU) から以下の報告があった。

画質評価法の分野で非常に長期にわたり貢献してきた Mrs Alina Karwowska-LAMPARSKA (ポーランド) が亡くなったこと、映像に関する SWG 議長であった Spencer LIENG (オーストラリア) が ABC を退職し、WP6C 副議長も辞退したことにより、SWG 議長を務めてきた 2 人が WP6C に参加できなくなったことが紹介された。

いつものように、SWG1: 音質評価法、SWG2: 画質評価法、SWG3: 音声、SWG4: 映像、SWG5: 3DTV、SWG6: その他、と 6 つの SWG を設立して審議を行い、これから審議してもらう文書の他に、議長レポートに添付される多くの文書を出力することができた。

先週の WP6C 会合で、3DTV に関して、我々は現在どの位置にいて、将来どのように進んでいくのか、明確にしてほしいとの質問が、Kavouss ARASTEH (イラン) からあった。今回の SG6 会合では、時間的に可能であればこれについても説明したいと考えている。まずは審議文書に進み、そのなかで審議状況や今後の予定など必要と思われる補足説明をその都度行っていくとの発言が WP6C 議長からあり、文書審議に移った。

- Doc.6/125 (WP 6C) Draft new Report ITU-R BS.[FABS] - Framework of future audio broadcasting systems

新レポート案 ITU-R BS.[FABS] 「将来のオーディオ放送システムの枠組み」

将来の放送サービスにおける音声システムの枠組みを示す新レポート案で、マルチチャンネル音響システムの勧告化に向けてチャンネルベース、オブジェクトベース、シーンベースの 3 つの

アイデアが提案されており、勧告化の合意まで暫く時間がかかりそうなことから、まずは新レポートとして情報を周知したいとの目的で作成されたものである。

Kavouss ARASTEH (イラン)より、第3章の Speaker layout superset naming convention の意味が分かりにくいとの発言があった。昼休憩後、関係者間の合意として、目次とセクションタイトルを以下のように修正することが提案され、了承された。

3 Convention for identifying the position of a loudspeaker in a superset of a loudspeaker layouts ~~Speaker layout superset naming convention~~

3.1 Definition of a superset of loudspeaker layouts ~~superset~~

3.2 Label and layouts within the superset ~~Naming Conventions for the superset of existing and future speaker layouts~~

上記の修正が行われた後、新レポート案は承認された。

承認後に、WP6C 議長から、以下の補足説明とお願いがあった。

昨年、UHDTV の映像に関する勧告が策定されており、UHDTV の音響システムの勧告化が待たれている。UHDTV の受信機には、当然、映像と音響の両方があり、早期の音響システムの勧告化が求められている。そのために、2つのRGを設立した。1つはマルチチャンネル音響システムの評価法を確立するRGであり、これまでの圧縮による歪みを評価するMUSHRA等とは異なり、Quality of Experienceを評価するものが必要である。もう1つのRGはマルチチャンネル音響システム規格を作るもので、1方式が理想的であるが、できるだけ少ない方式に絞り込むことが期待されている。今会合に、家庭でのスピーカーレイアウトを標準化することで、複数の音響システムが採用されても、放送された信号を受信機がソフトウェアによりスピーカーへの各信号を生成することで複数システムに対応可能とのアイデアが提案されている。UHDTVの音響システムの早期の勧告化が必要であり、それを実現するために、上記の2つのRGやWP6C秋会合に積極的に参加してほしい。

- Doc.6/121 (WP 6C) Draft new Recommendation ITU-R BT.[REF-VIEW] - A reference viewing environment for evaluation of HDTV program material or completed programmes

新勧告案 ITU-R BT.[REF-VIEW] 「HDTV 番組素材または完成番組の評価のための基準観視環境」

HDTV の番組を異なる施設でもできるだけ同じに見えるようにすることを目的として観視環境、観視条件を規定する新勧告案である。修正無く仮採択された。(PSAA)

- Doc.6/120 (WP 6C) Editorial revision of Recommendation ITU-R BT.1729 - Common 16:9 or 4:3 aspect ratio digital television reference test pattern

勧告のエディトリアル修正案 BT.1729 「アスペクト比 16:9 または 4:3 に共通のデジタルテレビジョン標準テストパターン」

1280x720 50Hz を規定する勧告 BT.1847 をこの勧告が対象とするテレビジョン形式として追加するエディトリアル改訂案である。

修正無く、エディトリアル改訂案として承認された。

- Doc.6/122 (WP 6C) Suppression of four Opinions under the responsibility of Study Group 6

「SG6 が担当するオピニオンの廃止提案」

WP6C が所掌する Opinion 40 の廃止が合意された。Opinion 15-3 と Opinion 16-3 は WP6A から、Opinion 90 は WP6B からの文書で廃止が承認されている。

- Doc.6/123 (WP 6C) Suppression of Recommendations ITU-R BR.1385 and ITU-R BR.1694

「勧告 BR.1385 と BR.1694 の廃止提案」

勧告 ITU-R BR.1385「記録可能なコンパクトディスク(CD-R)での音声番組交換」と、BR.1694「劇場環境での提示を想定した LSDI 国際番組交換用ビデオカセット録画フォーマット」の廃止提案である。提案どおりに廃止が採択された。

SG6 議長から、廃止になっても、これらの勧告が ITU の Web から消えるわけではなく、廃止になったことを表示するマークが付けられるだけであり、今後もダウンロード可能で、参照することもできるとの説明が付け加えられた。

- Doc.6/124 (WP 6C) Request to RAG through Study Group 6 regarding proposed intersectorial Rapporteur Group

RAG への要望「セクターをまたいだラポータグループ」

RA-15 で決議 6-1 が改訂されるまでの期間、暫定措置的に ITU-T とのセクター間ラポータグループ (IRG) への参加を許可するように求める SG6 から RAG へのリエゾン文書案である。

WP6C 議長から、次のような説明があった。

WP6C に対して、ITU-T SG9 から品質評価に関して IRG として協調して研究を進めることを打診するリエゾン文書が送付された。品質評価に関しては、ITU-R SG6 が放送サービス、ITU-T SG9 がケーブルサービス、ITU-T SG16 が IPTV サービスを対象に品質評価の研究を行っている。WP6C では IRG 参加への関心が高く、本来 RA-15 で決議 6-1 が改訂されないとそのような活動はできないが、RAG により、暫定措置として、参加が許容されれば参加可能との意見が WP6C 会合であったことを受けて、SG6 から RAG へのリエゾン文書案として本文書を作成した。もし SG6 の同意が得られれば、SG6 から、本件を 5 月に開催される RAG に提案してほしい。

これに対して、SG6 議長は、これを承認することに問題ないと思われるが、SG6 の中で、WP6C の品質評価だけでなく、WP6B の IBB システムやインタラクティブ TV、WP6A と ITU-T SG5 との PLT などの干渉問題など、SG6 の中で IRG の形で活動するのが良いと思われるテーマが多くあると思っており、暫定措置が品質評価だけを対象にしたものでなく、限定がない形での許可を得たいと個人的に思っていると発言した。さらに、仮に 5 月の RAG 会合で許可が出たとして、11 月会合までに SG6 としてどのように対応していくのかとの質問を行った。

WP6C 議長からは、5 月の RAG で許可ができれば、品質評価のキーパーソンが ITU-T 側と連絡をとり、所掌事項案の修正等の議論を始めるつもりである旨の回答があった。

Paolo ZACCARIAN(イタリア)は、決議 6-1 の改訂に関するコレスポネンスグループ議長として、グループに改訂案を送付したところ、否定的な反応は全くなかったことを報告するレポートを RAG に提出した。RAG が暫定措置として IRG への参加を許可することは間違いなく、(WP6A、WP6B の意識確認や RAG へのリエゾン文書を再考するために)11 月の SG6 会合まで判断を先延ばしにする必要はない。ITU-T では既に決議 18 の改訂が完了しており、そこでは双方の親 SG 議長の合意に基づき IRG を設立できると規定されており、RAG で合意された後、ITU-R SG6 議長は ITU-T SG9 議長と連絡をとって合意すれば、品質評価にかかわらず何でも IRG の

活動を開始できる。ITU-T の他の SG でも同様である。但し、SG6 の各 WP が個別のテーマにおいて IRG 設立に賛成するかどうかを確認するプロセスが必要であると発言した。SG6 議長は、RAG で暫定措置としての IRG 活動が認められた段階で ITU-T 側とメール交換等で打診をし、11 月の SG6 ブロック会合でその結果を報告すると発言した。

これらの意見を踏まえて、WP6C からの提出された文書は、修正なく承認され、RAG に送付されることになった。

SG6 議長から、個人的には、UHDTV に比べて 3DTV は止まってしまったとの印象を持ちつつある状況であるが、2014 年春会合時に Beyond HDTV として UHDTV と 3DTV の Workshop を開催する方向でもあり、3DTV の現状と将来予測について説明してほしい旨の発言があり、WP6C 議長レポートの報告終了時に、時間に余裕があればと話していた 3DTV に関する状況報告を行う時間が与えられた。WOOD WP6C 議長から、次のような説明がなされた。

3DTV に関して、いろいろな側面から議論をしてきており、要求条件、番組制作でのスタジオ規格、音声方式、インタフェース規格、圧縮信号での伝送方式、主観評価法、健康・快適視聴への影響、放送方式などについて、勧告やレポートを策定してきた。これらはいずれも二眼式の 3DTV に関するものである。特に、レポートに記載された情報は、DVB プロジェクト等で大いに参考にされてきた。レポートのなかで、3DTV は、3 ステップの発展・開発になると記載されている。各ステップの期間を予測することは難しいが、大凡 10 年ずつ続くと思っている。

第 1 ステップは、二眼 3DTV であり、左眼、右眼の情報を分けて伝送するもので、サイドバイサイド形式の伝送や、既存受信機との両立性確保の観点から左眼と右眼を別ストリームで伝送するものが存在している。視聴者は眼鏡をかけて視聴する。

第 2 ステップは、多視点フェーズと呼ばれており、多視点型のディスプレイを利用し、眼鏡無しでみられる 3DTV である。ディスプレイは左眼・右眼の映像ペアを表示する多くのストライプ(9~20 程度)により構成され、ディスプレイ表面に特殊な工夫が施されている。このシステムでは水平に頭を動かすと、異なる方向からの 3DTV 映像を視聴できる。この段階まで、どの位時間がかかるかという点では、現在、実験システムが展示会等でなされているが、画質的にはまだ完成レベルから遠い感じであるものの、画質改善が進んでいる。4K の UHDTV ディスプレイであれば、多くのストライプのために 1 視点から見えるピクセル数は減ってしまうものの、HDTV 品質より少し低い程度の品質を確保することが可能である。10 年単位の発展の中で、このフェーズに移っていくと思われる。多くの視点用の画像情報を計算により算出する方法もあるが、奥行き情報等を付加情報として伝送する必要があると思われ、必要な伝送帯域幅は大きくなるので、WP6A には周波数確保をお願いしたい。

UHDTV には、その映像自身に奥行き感を感じるとの指摘があり、UHDTV と 3DTV でどちらが高い臨場感を得られるかとの議論もある。

第 3 ステップは、ホログラフィー、ホログラフィックピクチャであり、見る位置によって異なる 3DTV 映像を見ることができると言われているが、この技術がいつ提供されるか予想できない。

これを受けて、SG6 議長から以下の発言があった。技術の発展を信じる。革新的な技術が生まれ、以前は不可能と思われていたことが、今日普通のことになっているものが多くある。1981 年にアナログ TV 放送にデジタル音声を採用した衛星放送のデモを行ったとき、そのデモに参加していたドイツの家電メーカーの代表が、これまで経験したことのない音質にほとんど泣き出しそうであった。それからデジタル技術がコンシューマ製品に採用されるようになった。ただ、その放送技術も今はもう使用されていない。

3.8 その他の文書

- Doc.6/102 (Italy) Proposal to suppress all the ITU-R Opinions in the purview of Study Group 6

「SG6 が所掌するオピニオンの廃止提案」

すでに審議済みであり Noted とされた。

- Doc. 6/103 (Italy, Vatican City State) Basic desirable functionalities of consumer receivers for worldwide broadcasting roaming

「ワールドワイド放送ローミングのための基本要件機能」

イタリアから、受信機をもって旅行するときに、ニュースなどを自分の言語が提供されていればそれを受信できる様にするというものであり、このアイデアは、イタリアのみではなく、受信機メーカーも興味を持っており、IEC TC100 も協力している。SG6 が認めればこの考えを進めていきたい。

議長から研究継続とすることが提案され承認された。

- Doc. 6/104 (Italy, Vatican City State) Proposal to change the title of Recommendation ITU-R BT.1895

「勧告 ITU-R BT.1895 のタイトル変更提案」

WP6A で議論されたので Noted とされた。

- Doc.6/105 (SG 5) Recommendation ITU-R M.1841-1

「勧告 ITU-R M.1841-1」

WP6A で既に議論されたため Noted とされた。

- Doc.6/109 (NABA) Support for Italy and Vatican City State on the proposal to change the title of Recommendation ITU-R BT.1895

「勧告 ITU-R BT.1895 のタイトル変更提案に関するイタリア、バチカンの提案への支持」

Noted とされた。

- Doc.6/114 (Italy, Vatican City State) Liaison statement to JTG 4-5-6-7 - WRC-15 Agenda item 1.1: The crucial importance of the residual UHF band for the terrestrial platform for television broadcasting

JTG4-5-6-7 へのリエゾン文書「WRC-15 議題 1.1 に関する UHF における地上テレビ放送プラットフォームの重要性」

WP6A で審議されているので Noted された。

- Doc.6/118 (Finland) Government policy on the future of electronic media in Finland

「フィンランドにおける将来の電子メディアに関する政策」

2017 年に 700MHz を移動業務に割り当てることを記載している。

Noted とされた。

3.9 ラポータグループについて

- Doc. 6/116 (SG 6 Rapp. on PLT Issues) Report on recent developments concerning PLT and wired telecommunication systems

「PLT と有線通信システムの開発状況報告」

議長から、John SHAW (BBC)がラポータとなっていることが説明された。

John SHAW から、ラポータのタイトルを PLC から Impact on Wired to Wireless Telecommunication と変更することが提案された。Home Platform において、CENELEC は 30MHz 以上の規格の作成を始めている。G.Fast プロジェクトでは周波数と出力の使い方についての議論している。新しいケーブルを使うことが前提となっている。ITU-T SG5 で干渉耐性について記載している。

議長から 1024QAM を使うと非常に直線性にシビアになり、コネクタについても規格厳しくなる。HinoC についても同様。これらが放送に有害な干渉を与えないことを確認していく事が必要と考えるとの発言があった。ラポータのタイトルを Impact on wired telecommunication to broadcasting system に変更することを承認、ラポータ期間の延長も承認された。

- Climate Change のラポータからの報告 (David WOOD (EBU))

気候変動と ICT の活動に関するグループの活動報告のレポートである。ラポータの David WOOD (EBU) から、Green Technique(環境保護・省電力技術)を重要と考えている放送事業者が少ないのが現状と報告があり、イギリスの3つの放送事業者(BBC, Channel4, BskyB)の活動が紹介された。議長は、見ない時間のテレビを OFF(stand-by ではなく)にすると原子力発電所1基分の電力を節約でき、また、放送のデジタル化で送信所の数を削減できることを紹介し、消費電力の削減に寄与すると補足した。WOOD は、JCA の作業は基本的には完了したが、情報収集のために継続したいと発言し承認された。文書は Noted とされた。

Joint Coordination Activity on ICT and Climate Change の活動は、昨秋、持続可能な放送についてのガイドラインが必要との記載を行ったレポートを作成して終了した。また、出力消費などを研究してきた。今年 1 月には、ITU-T SG5 で Smart Cities というアイデアの議論を始めている。

Guideline for sustainable broadcasting について SG5 が寄与作成を進めているこれらは、ITU-T SG5 で行われるべきか、ITU-R SG6 で行われるべきか審議が必要と報告された。これに対し、イランから ITU-T SG5 に Sustainable Broadcasting を作成させることに反対。これに議長も同意、さらにイタリアから SG5 が Sustainable を定義しているか不明であるという懸念が示され、この議論は SG6 で行われるべきとした。イタリアから 2005、2006 年に電磁波の影響についての研究が行われたが、先方から情報提供は無かった。放送に関わる研究は、SG6 が行うと主張すべきと発言した。イランは SG6 議長が NOTE を作成し、RAG-TSAG 経由で情報を提供すべきと提案し、了承された。これに対し David WOOD (EBU)から世界の事業者を確認したところ、BBC は興味があると返答があった以外は他の事業者は興味が少ない印象だった。これは Green Broadcasting と呼んでも良いが、他の放送事業者もアクティブになってほしいと発言があった。

続いて、議長から以下の発言があった。

以前、デジタル化でどのくらい電力消費を抑えたかの情報を提供した。送信機の減少、出力の減少など。Michael HATE (BBC)とも話した。800kW の送信機が 40%から固体化で 80%に効率が

上がっている。すでに、二酸化炭素の削減に貢献している。これらは、SG6 が持っている情報で SG5 が持っていない情報である。

さらにイタリアから、議長レポートに過去 20 年間にいくらの電力を削減したか WP6A が情報収集して記載することは可能かと発言があり、議長が前向きに検討すると回答した。イランからセクター毎にそれぞれの視点がある。RAG, T-SAG とコンタクトする前に先方の考え方や WTSA の Energy Saving のセクションを読む事を薦めると発言し、議長も了承した。

- Doc. 6/115 (RG on Spectrum Requirements) Rapporteur Group on Spectrum Requirements for the Future of the Broadcasting Service Progress Report

「将来の放送サービスのための周波数要求に関するラポータグループの進捗報告」

Robert WEBBER (BBC)からの報告。勧告、レポートの周波数別のまとめ等を記載した。RG への参加を広く求めるとした。議長から RG 議長へのサポートを依頼し、RG の延長が承認された。

3.10 CCV 関連事項

- Doc. 6/ 95 (CCV) Liaison statement to ITU-R Study Groups 1, 3, 4, 5, 6 and 7 - ITU-R Study Groups Vocabulary Work

「ITU-R SG1,3,4,5,6,7 へのボキャブラリに関するリエゾン文書」

PDNR レベルの定義を追加するかを確認する内容。議長は PDNR が勧告化されずに削除された場合に定義のみ残る点に懸念があるので反対したいと提案し、承認された。

- Doc. 6/ 107 (SG 6 Rapporteur to the CCV) Proposal to add a number of broadcasting terms, definitions and/or acronyms to the ITU terminology database

「ITU の用語データベースへの放送関連の用語、定義の追加提案」

WP6A, 6B, 6C で審議されたので Noted とされた。

3.11 緊急放送

初めに議長から、NABA、イタリアに寄与に対する謝辞が述べられた。また、放送は、シンプルで、安定、冗長がある、とても信頼性の高いシステムであり、災害地の展開も早いのが特長であるとコメントされた。

- Doc. 6/106 (NABA) The importance of radio and television broadcasting for emergency communications to the public

「公衆への緊急通信としてのテレビ、ラジオ放送の重要性」

NABA から、CBS, WBU, Rai Way からの支持に感謝するコメントが出された。WP6A で議論済みとして Noted とされた。

- Doc. 6/108(World Broadcasting Unions - Technical Committee) Support for NABA on the importance of radio and television broadcasting for emergency communications to the public (copy to WP 6A for information)

NABA 寄書への支持「公衆への緊急通信としてのテレビ、ラジオ放送の重要性」

Noted とされた。

- Doc. 6/111 (Rai Way S.p.A.) Support to Document 6/106 (6A/201) on the importance of radio and television broadcasting for emergency communications to the public

文書 6/106 の支持「公衆への緊急通信としてのテレビ、ラジオ放送の重要性」

Noted とされた。

- Doc. 6/112 (Italy , Vatican City State) Global platform of international radio for disaster relief 「災害援助のための国際放送の広域プラットフォーム」

イタリアから、共同ラポータが指名されているが WP6A のみの問題ではなく、WP6B へ周知する必要があると考える。ラジオが自動起動するために最適なメディアと考える。共同ラポータ議長が SG6 と WP で兼任すべきと提案された。議長は、この時点での RG の構成を変更するのは難しいとしたが、WP6B も重要という点で合意し、WP6B に関するアイテムは 11/21 に行われる予定のセミナーでもプレゼンが可能であるとした。さらに日本の緊急警報放送による自動起動の勧告をベースに進めるのがよいとされた。

ロシアはイタリア、バチカンの意見を支持した上で、SG6 でのみ議論されている。TV 放送、ラジオ放送はどこでも受信可能。PPC の準備を進めるにあたり、このような複雑な状況を説明し、文書を準備して PPC にテキストを送って状況を知らせるのが良いと発言した。

議長からは次回のラポータグループのレポートの後、2014 年の PPC に備えるのが良いかと思う。WP6A の RG で継続していくとした。

- Doc. 6/113 (Italy, Vatican City State) Support to Document 6/106 (6A/201) - The importance of radio and television broadcasting for emergency communications to the public

文書 6/106 の支持「公衆への緊急通信としてのテレビ、ラジオ放送の重要性」

Noted とされた。

3.12 SG6 ステアリング会合の結果

文書の分配、スケジュール、2013・2014 年のワークショップ（秋に災害放送、2014 年春に Beyond HDTV について）について議論されたことが報告された。

3.13 他の研究委員会、国際機関とのリエゾン文書

- Doc. 6/117 (ITU-T FG-DR&NRR) Status report of the Focus Group on Disaster Relief Systems, Network Resilience and Recovery (FG-DR&NRR)

「災害支援システム、ネットワーク回復に関する FG からの状況報告」

防災についての FG の活動報告。Noted とされた。WP6A 議長は、謝意を送付していると付け加えた。

- Doc. 6/119 (Note by the Secretary-General) ICT sectorial consultation on the role of ICTS to promote the inclusion of persons with disabilities - Request for inputs from relevant ITU-R Study Groups

関連する ITU-R SG への入力の依頼「障害者の ICT へ関わりを促進するための ICT の役割」議論済みであり Noted とされた。

3.13.1 ITU-T(セクター間ラポーターグループ)

- Doc. 6/98 (ITU-T SG 9) Liaison Statement on terms of Reference for a proposed Intersectoral Rapporteur Group

「セクターをまたいだラポーターグループの所掌事項に関するリエゾン文書」

WP6C で回答済みであり、Noted とされた。

- Doc. 6/99 (ITU-T FG AVA) Reply liaison statement to ITU-T Study Group 9 on proposed intersector Rapporteur Group on audiovisual quality assessment among ITU-T Study Group 9, ITU-T Study Group 6

「ITU-T SG9、ITU-R SG6 との音質評価に関するセクター間ラポーターグループに関する ITU-T SG9 へのリエゾン返書」

WP6B, 6C で議論済みであり、Noted とされた。

- Doc. 6/126 (ITU-T SG 12) Liaison statement on terms of reference for a proposed Intersectoral Rapporteur Group

「セクター間ラポーターグループの所掌事項に関するリエゾン文書」

WP6C で議論済みであり Noted とされた。

3.13.2 JTG 4-5-6-7 とのリエゾン

- Doc. 6/97 (JTG 4-5-6-7) Liaison statement to Study Groups 4, 5, 6 and 7 and Working Parties 4A, 4B, 4C, 5A, 5B, 5C, 5D, 6A, 7B, 7C and 7D as concerned Groups for WRC-15 Agenda item 1.1 - Preparations for WRC-15 Agenda item 1.1 - Technical and operational characteristics

SG4, 5, 6, 7, WP4A, 4B, 4C, 5A, 5B, 5C, 5D, 6A, 7B, 7C, 7D へのリエゾン文書「WRC-15 議題 1.1 の準備 – 技術的、運用上の特性」

WP6A で議論済みである。多くのリエゾン文書を JTG に送付済みであるとし、Noted とされた。

3.13.3 ITU-T FG-AVA とのリエゾン

- Doc. 6/94 (ITU-T FG AVA) Liaison statement from FG-AVA to ISO on media access service

「FG-AVA から ISO メディアアクセスサービスへのリエゾン文書」

SG6 にはコピー送付であり、また、WP6B, 6C で議論済みであるとし、Noted とされた。

- Doc. 6/96 (ITU-T FG AVA) Reply liaison statement to JCA-AHF on audiovisual media accessibility

「映像音声メディアアクセス性の JCA-AHF へのリエゾン返書」

Noted とされた。

- Doc. 6/100 (ITU-T FG AVA) Liaison statement to ARIB, ATSC, DVB, SARFT and SBTVD on subtitle/captioning system

「ARIB, ATSC, DVB, SARFT, SBTVD への字幕システムに関するリエゾン文書」

字幕に関する標準化機関へのリエゾン。SG6 へはコピー送付のため、Noted とされた。

- Doc. 6/101(Rev.1) (ITU-T FG AVA) Liaison statement to ARIB, ATSC, DVB and SBTVD on signing service guideline

「ARIB, ATSC, DVB, SARFT, SBTVD への手話サービスガイドラインに関するリエゾン文書」

手話サービスに関する標準化機関へのリエゾン。SG6 へはコピー送付であり、Noted とされた。

3.14 テキストの現状

- 6/110 (BR Study Group Department) Status of texts

「テキストの現状」

Noted とされた。

3.15 次回会合予定、その他

次回会合の予定を表 2 に示す。議長から、11/21 午後に、Disaster Broadcasting、また、11/11 午後に WRC-15 ラポータグループの会議が予定されていることがアナウンスされた。また、ITU-R SG5 会合 11/18 に会合開始されるため、部屋の確保が難しくなる可能性がある点が補足された。

あわせて、9 月にカウンセラーの Nangapuram VENKATESH が退職することが紹介され、議長から寄せ書きを贈呈した。これに対し Nangapuram VENKATESH からは、SG6 と共に多くの成果をのこすことができたことと謝意が述べられた。

最後に KRIVOCHEEV SG6 名誉議長から、多くの努力を乗り越えた議長の努力に謝意が伝えられ、会合が閉会した。

4. あとがき

今回の SG6 会合は、会期が1日であったが入力件数が多く、より効率的な審議が求められた。その中で、WRC-15 議題 1.1 に関連する日本における IMT と ISDB-T の両立性に関する検討結果の情報がレポートの改訂として承認された。WP6B 関連では、ハイブリッドキャストを含む IBB システムのレポートが承認された。さらに WP6C から入力された将来の放送における音声システムのフレームワークを示すレポートも承認された。また、ITU-T とのセクター間ラポータ設置について、活発な議論が行われた。RAG 会合での承認を待つ積極的な活動が期待される。品質評

価について WP6C と ITU-T SG9, SG16 のラポータ設置の提案を皮切りに、WP6A では PLT に関して、WP6B では、IBB システムやインタラクティブ TV についてのラポータ設置の可能性についても話し合われた。様々な課題や新技術に対して、ITU-R の SG のみならずセクターを越えて協力して行くという一つの流れが見えた会合であった。次会合では、災害と放送に関するワークショップが開催されることが周知され、WP6A に設置された災害と放送に関するラポータグループへの入力を含め、日本からの寄与も期待されている。東日本大震災での放送の果たした役割、ISDB-T 日本方式の優位性など日本の放送をアピールする機会になると期待する。

表 1 日本代表団 SG6 会合参加者

| | |
|--------|------------------------------------------------------|
| 山内 匠 | 総務省 情報流通行政局 放送技術課 |
| 平川 秀治 | (株)東芝 技術企画室 主監(標準化担当) |
| 清水 勉 | (一社)日本民間放送連盟 ((株)TBS テレビ メディア戦略室 技術戦略部 スペシャリスト部長) |
| 井上 幸 | (一社)日本民間放送連盟 ((株)フジテレビジョン 技術開発局 技術開発室 開発推進部 部長職) |
| 西田 幸博 | 日本放送協会 放送技術研究所 テレビ方式研究部 主任研究員 |
| 久代 雄一郎 | 日本放送協会 技術局 計画部 副部長 |

表 2 次回会合予定(6/ADM 10)

| 2013 年 11 月期 | |
|--------------|----------|
| WP 6A | 11/12-20 |
| WP 6B | 11/18-21 |
| WP 6C | 11/11-15 |
| SG 6 | 11/22 |

表 3 入力文書一覧(53 件)

| 入力文書 番号 (6/) | 提出元 | 題 名 | 措 置 |
|--------------------|-------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------|
| 94 | ITU-T FG AVA | Liaison statement from FG-AVA to ISO on media access service | Noted |
| 95 | CCV | Liaison statement to ITU-R Study Groups 1, 3, 4, 5, 6 and 7 - ITU-R Study Groups Vocabulary Work | 承認 CCV へ送付 |
| 96 | ITU-T FG AVA | Reply liaison statement to JCA-AHF on audiovisual media accessibility | Noted |
| 97 | JTG 4-5-6-7 | Liaison statement to Study Groups 4, 5, 6 and 7 and Working Parties 4A, 4B, 4C, 5A, 5B, 5C, 5D, 6A, 7B, 7C and 7D as concerned Groups for WRC-15 Agenda item 1.1 - Preparations for WRC-15 Agenda item 1.1 - Technical and operational characteristics | Noted |
| 98 | ITU-T SG 9 | Liaison Statement on terms of Reference for a proposed Intersectoral Rapporteur Group | Noted |
| 99 | ITU-T FG AVA | Reply liaison statement to ITU-T Study Group 9 on proposed intersector Rapporteur Group on audiovisual quality assessment among ITU-T Study Group 9, ITU-T Study Group 6 | Noted |
| 100 | ITU-T FG AVA | Liaison statement to ARIB, ATSC, DVB, SARFT and SBTVD on subtitle/captioning system | Noted |
| 101 Rev1 | ITU-T FG AVA | Liaison statement to ARIB, ATSC, DVB and SBTVD on signing service guideline | Noted |
| 102 | Italy | Proposal to suppress all the ITU-R Opinions in the purview of Study Group 6 | Noted |
| 103 | Italy , Vatican City State | Basic desirable functionalities of consumer receivers for worldwide broadcasting roaming | ラポータ 継続承認 |
| 104 | Italy , Vatican City State | Proposal to change the title of Recommendation ITU-R BT.1895 | Noted |
| 105 | SG 5 | Recommendation ITU-R M.1841-1 | Noted |
| 106 | North American Broadcasters Association (NABA) | The important of radio and television broadcasting for emergency communications to the public | Noted |
| 107 | SG 6 Rapporteur to the CCV | Proposal to add a number of broadcasting terms, definitions and/or acronyms to the ITU terminology database | Noted |
| 108 | World Broadcasting Unions - Technical Committee | Support for NABA on the importance of radio and television broadcasting for emergency communications to the public (copy to WP 6A for information) | Noted |

| 入力文書 番号 (6/) | 提出元 | 題 名 | 措 置 |
|--------------------|------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|
| 109 | North American Broadcasters Association (NABA) | Support for Italy and Vatican City State on the proposal to change the title of Recommendation ITU-R BT.1895 | Noted |
| 110 | BR Study Group Department | Status of texts | Noted |
| 111 | Rai Way S.p.A. | Support to Document 6/106 (6A/201) on the importance of radio and television broadcasting for emergency communications to the public | Noted |
| 112 | Italy , Vatican City State | Global platform of international radio for disaster relief | WP6A RG で 審議継続 |
| 113 | Italy , Vatican City State | Support to Document 6/106 (6A/201) - The importance of radio and television broadcasting for emergency communications to the public | Noted |
| 114 | Italy , Vatican City State | Liaison statement to JTG 4-5-6-7 - WRC-15 Agenda item 1.1: The crucial importance of the residual UHF band for the terrestrial platform for television broadcasting | Noted |
| 115 | RG on spectrum requirements | Rapporteur Group on spectrum requirements for the future of the broadcasting Service Progress report | RG 継続 承認 |
| 116 | SG 6 Rapp. on PLT Issues | Report on recent developments concerning PLT and wired telecommunication systems | RG 継続 承認 |
| 117 | ITU-T FG-DR&NRR | Status report of the Focus Group on Disaster Relief Systems, Network Resilience and Recovery (FG-DR&NRR) | Noted |
| 118 | Finland | Government policy on the future of electronic media in Finland | Noted |
| 119 | Note by the Secretary-General | ICT sectorial consultation on the role of ICTs to promote the inclusion of persons with disabilities - Request for inputs from relevant ITU-R Study Groups | Noted |
| 120 | WP 6C | Editorial revision of Recommendation ITU-R BT.1729 - Common 16:9 or 4:3 aspect ratio digital television reference test pattern | 承認 |
| 121 | WP 6C | Draft new Recommendation ITU-R BT.[REF-VIEW] - A reference viewing environment for evaluation of HDTV program material or completed programmes | 仮採択 (PSAA) |
| 122 | WP 6C | Suppression of four Opinions under the responsibility of Study Group 6 | 合意 |
| 123 | WP 6C | Suppression of Recommendations ITU-R BR.1385 and ITU-R BR.1694 | 合意 |
| 124 | WP 6C | Request to RAG through Study Group 6 regarding proposed intersectorial Rapporteur Group | 承認 RAG へ送付 |

| 入力文書 番号 (6/) | 提出元 | 題 名 | 措 置 |
|--------------------|-----------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|
| 125 | WP 6C | Draft new Report ITU-R BS.[FABS] - Framework of future audio broadcasting systems | 承認 |
| 126 | ITU-T SG 12 | Liaison statement on terms of reference for a proposed Intersectoral Rapporteur Group | Noted |
| 127 | Chairman, WP 6C | Executive Report of the meeting of Working Party 6C (Geneva, 15-19 April 2013) | Noted |
| 128 | WP 6A | Draft revision of Report ITU-R BT.2209 - Calculation model for SFN reception and reference receiver characteristics of ISDB-T system | 承認 |
| 129 | WP 6A | Draft revision of Question ITU-R 136-1/6 - Worldwide broadcasting roaming | 採択 |
| 130 | WP 6A | Draft revision of Report ITU-R BS.2213 - Impact of audio signal processing and compression techniques on terrestrial FM sound broadcasting emissions at VHF | 承認 |
| 131 | WP 6A | Draft new Recommendation ITU-R BT.[DTV RX] - Characteristics of a reference receiving system for frequency planning of digital terrestrial television systems | 仮採択 |
| 132 | WP 6B | Draft new Recommendation ITU-R BT.[IBB-GENERAL] - General requirements for broadcast oriented applications of integrated broadcast-broadband (IBB) systems and their envisaged utilization | 仮採択 |
| 133 | WP 6B | Draft new Report ITU-R BT.[IBB-REPORT] - Integrated Broadcast-Broadband (IBB) systems | 承認 |
| 134 | WP 6B | Draft revision of Report ITU-R BT.2249-2 - Digital broadcasting and multimedia video information systems | 承認 |
| 135 | WP 6A | Draft revision of Report ITU-R BT.2247-1 - Field measurement and analysis of compatibility between DTTB and IMT | 承認 |
| 136 | WP 6A | Draft revision to Report ITU-R BT.2140-5 - Transition from analog to digital terrestrial broadcasting | 承認 |
| 137 | WP 6A | Proposal to suppress ITU-R Opinions in the purview of Study Group 6 | 採択 |
| 138 | WP 6A | Proposal to add a number of broadcasting terms, definitions and/or acronyms to the ITU terminology database | 承認 |
| 139 | WP 6B | Draft new Recommendation ITU-R BT.[3D-BRR] - Transport of HDTV 3DTV programmes for international programme exchange in broadcasting - Question ITU-R 128/6 | 仮採択 |
| 140 | WP 6B | Draft new Report ITU-R BT.[SDI-IP] - Integration of an SDI infrastructure with an IP-based infrastructure | 承認 |
| 141 | WP 6B | Suppression of Opinion under the responsibility of Study Group 6 | 採択 |

| 入力文書 番号 (6/) | 提出元 | 題 名 | 措 置 |
|--------------------|------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------|
| 142 | WP 6B | Reply from Study Group 6 to the note by the Secretary-General - ICT sectorial consultation on the role of ICTs to promote the inclusion of persons with disabilities | 承認 ITU 事務局 長へ送付 |
| 143 | Chairman, WP 6A | Executive Report of the meeting of Working Party 6A (Geneva, 16-24 April 2013) | Noted |
| 144 | Chairman, WP 6B | Executive Report of the meeting of Working Party 6B (Geneva, 22-25 April 2013) | Noted |
| 145 | BR Study Group Department | List of documents issued (Documents 6/93 - 6/145) | |
| 146 | Director, BR | Final List of Participants - Study Group 6 (Geneva, 26 April 2013) | |